



CFTC建玉報告:円/ドル、ユーロ/ドル(5月15日時点)

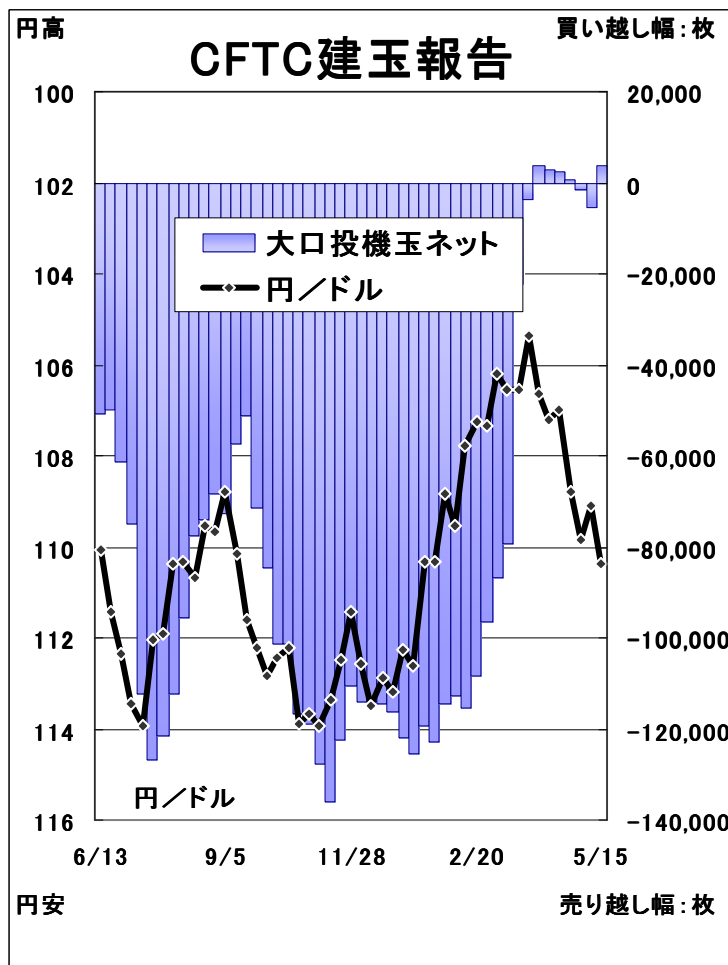
米商品先物取引委員会(CFTC)が18日に発表した建玉報告によると、15日時点のシカゴ・マーカンタイル取引所(CME)IMM通貨先物円(対ドル)相場の大口投機筋(非商業部門)は前週の売越しから買越しに転じ、買越幅は3680枚となった。投機筋は売り買い共にポジションを増やし、買いポジションを多く増やしていた。

期間中の円(対ドル)は軟調。15日に発表された4月の米小売売上高が前月比0.3%増と2カ月連続でプラスを確保。3月実績は0.6%増から0.8%増に上方修正され、「相当に強い統計」と受け止められた。また、ガソリンスタンドの売上高が原油高に伴うガソリン価格上昇などを背景に0.8%増と大きく伸びたことでインフレ懸念も再燃。米利上げペースが加速するのではないかと観測が広がる中、米長期金利の指標である10年物米国債利回りが3%台をつけ、2011年7月上旬以来約6年10カ月ぶりの高水準に達したことで、円売りドル買いが進行した。

期間中のユーロ(対ドル)は下落。大口投機玉の買越幅は11万5114枚となり、前週比5391枚縮小。

好調な米経済指標を手掛かりにユーロ売りドル買いが進行した。また、イタリアで3月の総選挙後から続く新政権樹立に向けた連立協議が大詰めを迎え、大衆迎合主義(ポピュリズム)政党「五つ星運動」と反移民の「同盟」が新政権を樹立し、EU懐疑派政権が誕生し、公約通りの政策を実行すれば、EUの財政規律に抵触するとみられており、同国の財政運営を巡る市場の不安が今後再燃する可能性は排除できないことも、ユーロが弱含む要因となった。

日付	円/ドル		ユーロ/ドル	
	終値	枚数	終値	枚数
01/16	110.34	-119,350	1.2266	139,490
01/23	110.32	-122,870	1.2294	144,717
01/30	108.84	-114,696	1.2397	148,742
02/06	109.54	-112,876	1.2373	140,823
02/13	107.78	-115,509	1.2356	127,289
02/20	107.24	-108,338	1.2336	126,126
02/27	107.36	-96,651	1.2231	137,977
03/06	106.20	-86,845	1.2405	132,972
03/13	106.54	-79,539	1.2391	146,380
03/20	106.53	-21,999	1.2240	132,739
03/27	105.38	-3,668	1.2401	141,064
04/03	106.62	3,572	1.2268	134,381
04/10	107.19	2,761	1.2352	147,463
04/17	107.01	2,591	1.2373	151,476
04/24	108.81	583	1.2231	130,594
05/01	109.85	-1,405	1.1991	120,568
05/08	109.12	-5,462	1.1864	120,505
05/15	110.36	3,680	1.1837	115,114
前週比	1.24	+9,142	-0.0027	-5,391



第一商品株式会社 〒150-0045 東京都渋谷区神泉町9番1号 神泉プレイスビル フューチャーズ・24

このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので投資勧誘を意図するものではありません。投資の最終的な決定はご自身の判断と責任でなされますようお願い致します。レポートに記載の内容等は作成時点のものであり、当社はその正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく修正、変更されることがあります。商品先物取引業者 日本商品先物取引協会会員 当社お客様相談窓口(東京・本社) 0120-770-266、日本商品先物取引協会相談センター東京本部 03-3664-6243。